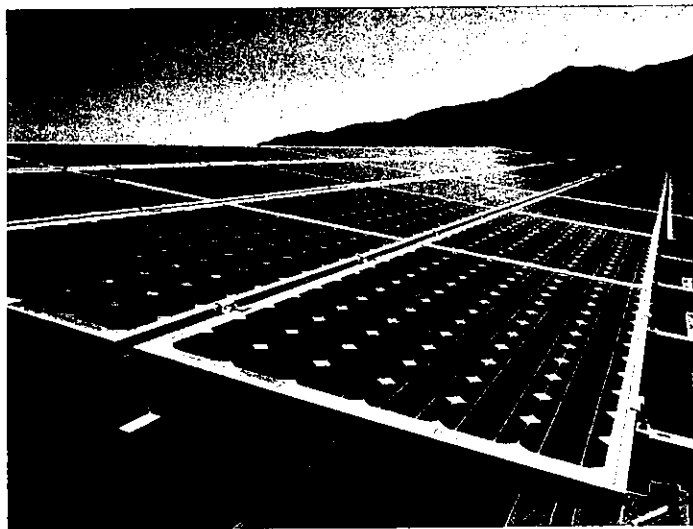


老人福祉センターに太陽光発電システムを導入！



村では、平成 21 年 2 月に宮田村地域新エネルギービジョンを策定し、地球環境にやさしい新エネルギーの普及拡大を目指しており、太陽エネルギー導入プロジェクトをその一つとして掲げています。

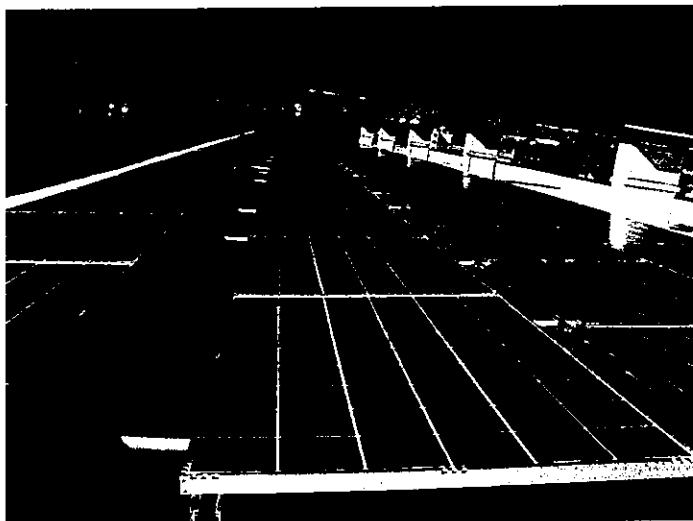
この度、「グリーン電力供給サービス」を活用し、老人福祉センターに太陽光発電システム（約 10kW）を導入しました。

年間発電量は約 11,400 kWh と想定し

ています。これは平成 21 年度施設電力消費量の約 43.5%に相当します。売電分を除くと約 4 割の電力をまかなうことを見込んでいます。

公共施設において新エネルギーを率先して導入すること、そしてこの事業がひとつのモデルケースとして、村内事業者や住民の皆さまへの新エネルギー活用の普及啓発となるよう新エネルギー普及拡大を推進していきます。

小・中学校に太陽光発電システムを導入！－スクール・ニューディール構想－



村では、平成 21 年 2 月に宮田村地域新エネルギービジョンを策定し、地球環境にやさしい新エネルギーの普及拡大を目指しており、太陽エネルギー導入プロジェクトをその一つとして掲げていますが、2010年10月国における「スクール・ニューディール構想」による事業を活用して、小学校と中学校に太陽光発電システムが

導入されました。

地球温暖化など地球環境問題は全世界共通の重要な問題となっています。学校への太陽光発電導入は消費電力に活用され二酸化炭素（CO₂）削減に大きく寄与するとともに、次世代を担う子どもたちの環境・エネルギーに対する意識を高めるための環境教育に役立てることが出来ます。

「スクール・ニューディール構想・太陽光発電版」の意義

◎地球温暖化対策への貢献、CO₂削減効果

- ・発電により生み出される再生可能エネルギーを消費電力に活用
- ・電気代削減による経済的効率性
- ・被災時の非常用電源活用による防災上の効果

◎環境・エネルギー教育への活用

- ・太陽光パネルの実物に接し、仕組みを体感できる
- ・発電モニターを活用して、CO₂削減効果を学べる
- ・地域住民の環境学習にも役立てる